

(7) 町民の意見（「町民まちづくりアンケート調査（平成 17 年 1 月）」・

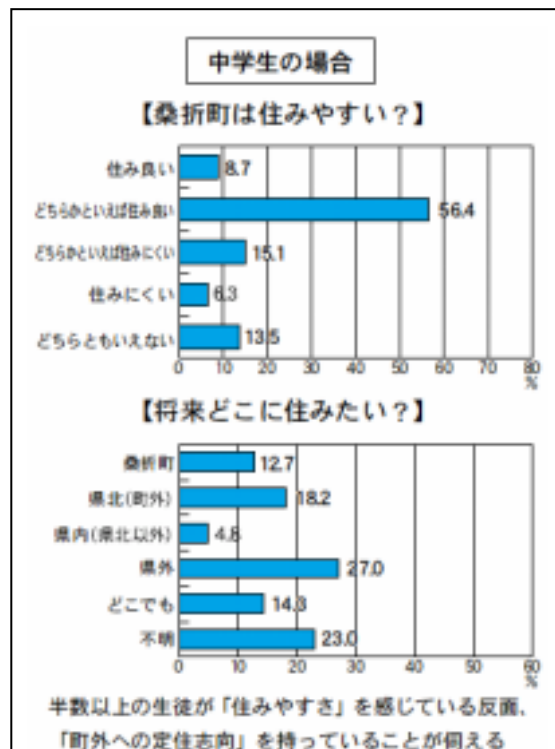
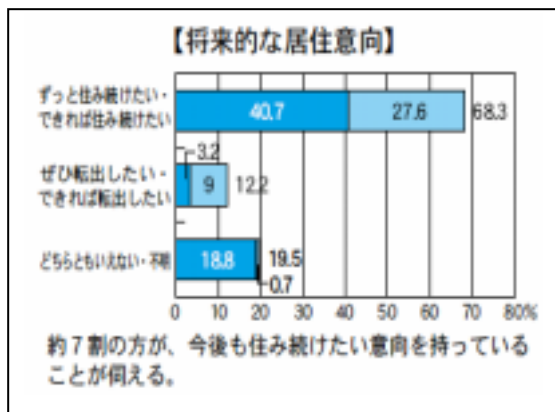
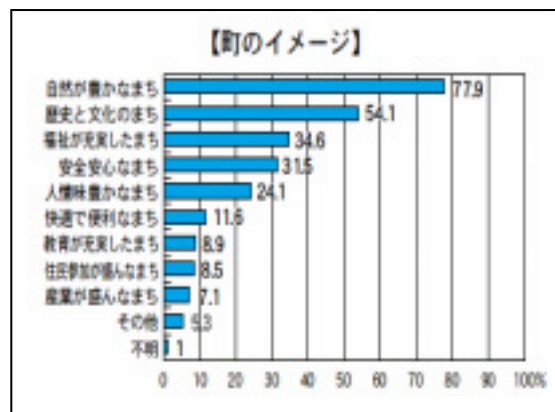
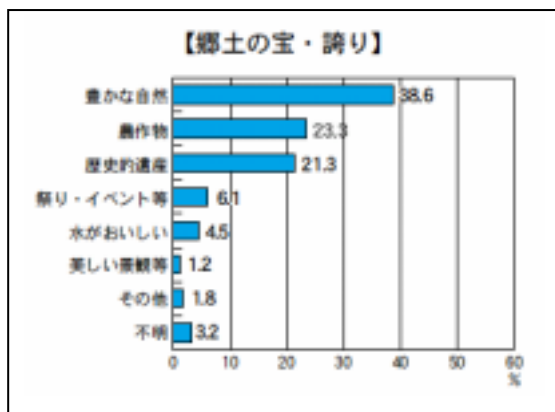
「都市マスタープランアンケート調査（平成 17 年 7 月）」の結果より）

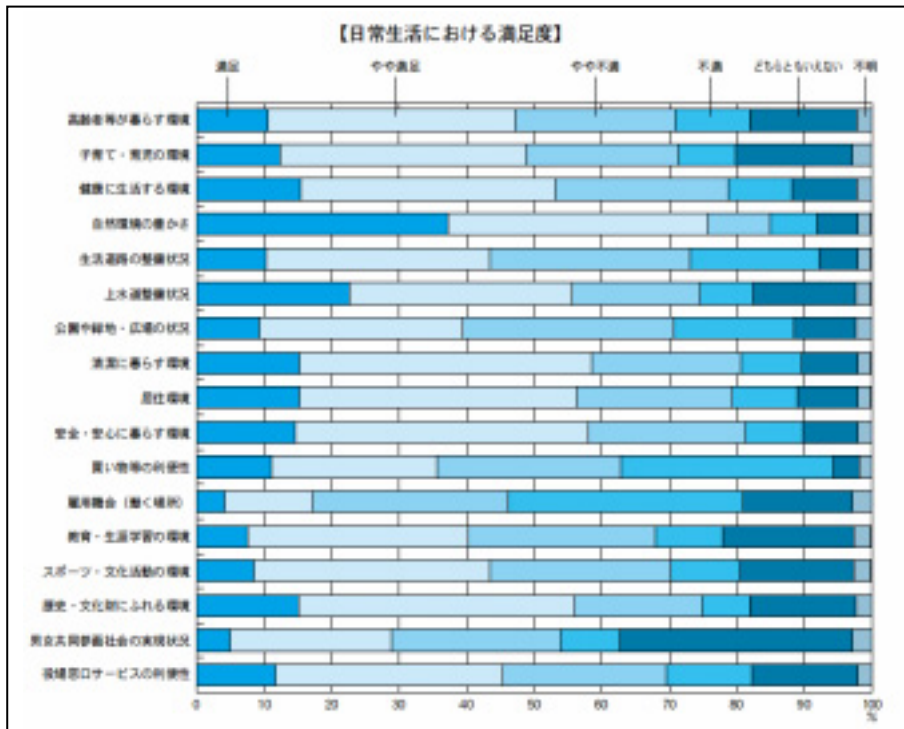
➤ 現在の桑折町に対する意識・イメージ

郷土の宝・誇りとして「豊かな自然」「農作物」「歴史的遺産」をあげる声が多く、町のイメージとしては「自然豊かなまち」「歴史と文化のまち」などの意見が多い結果となっています。

将来的な居住意向として、約 7 割の人が今後も住み続けた意向をもっていました。中学生への調査では、半数以上の生徒が「住みやすさ」を感じている反面、「町外への定住志向」をもっていることが伺えました。

また、不満度の高い項目としては「雇用機会（働く場所）」、「買い物等の利便性」、「生活道路の整備状況」「公園や緑地・広場の整備」などがあげられています。





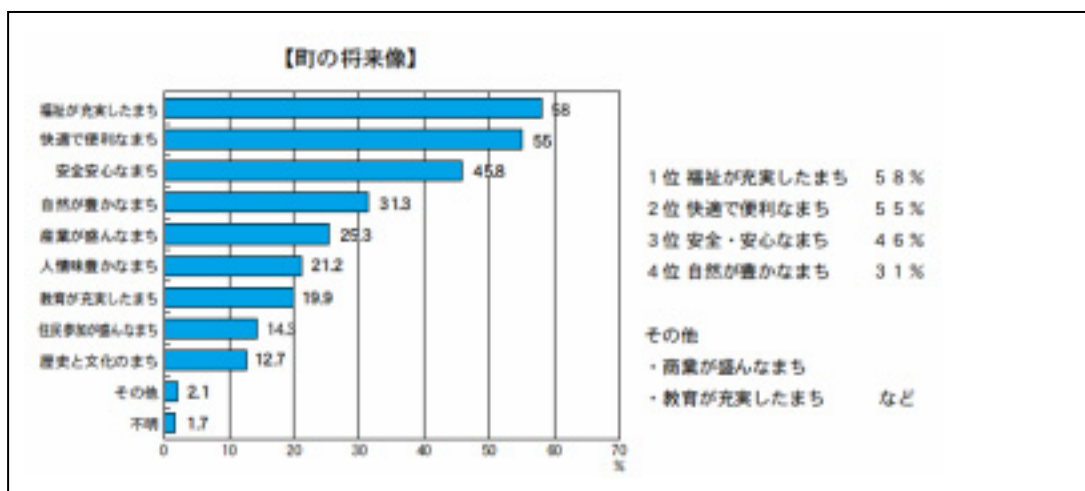
- 満足度が高い項目
 (「満足」「やや満足」を合算)
- 1位 自然環境の豊かさ 7.6%
 - 2位 清潔に暮らす環境 (ゴミ・生活排水処理) 5.9%
 - 3位 安全安心に暮らす環境 (防災・防犯等) 5.8%
 - 4位 上水道の整備状況 5.6%
 - * 居住環境 5.6%
 - * 歴史文化財の環境 5.6%
- 不満足度が高い項目
 (「不満」「やや不満」を合算)
- 1位 雇用機会 (働く場所) 6.4%
 - 2位 買い物等の利便性 5.9%
 - 3位 生活道路の整備状況 4.9%
 - 4位 公園や緑地・広場の整備 4.9%
- 「どちらともいえない・わからない」
 男女共同参画社会の実現状況 3.7%

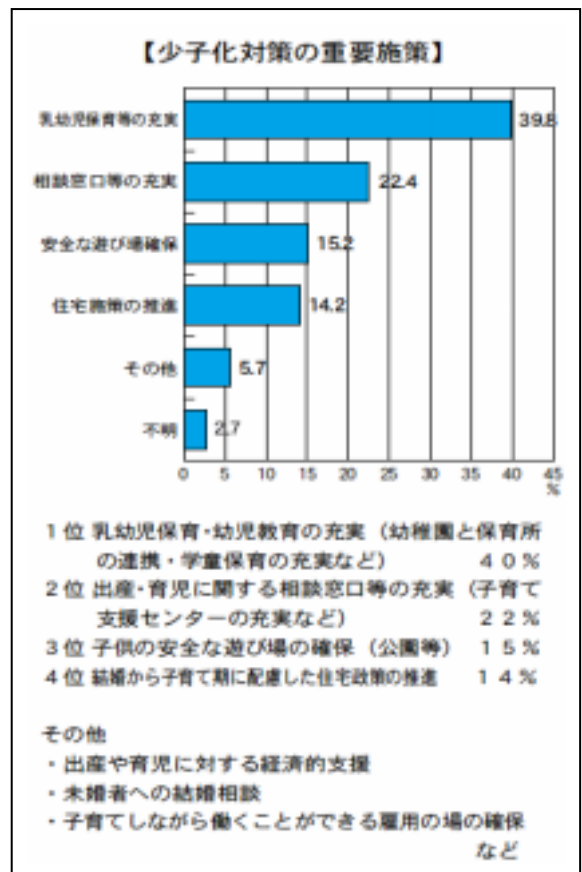
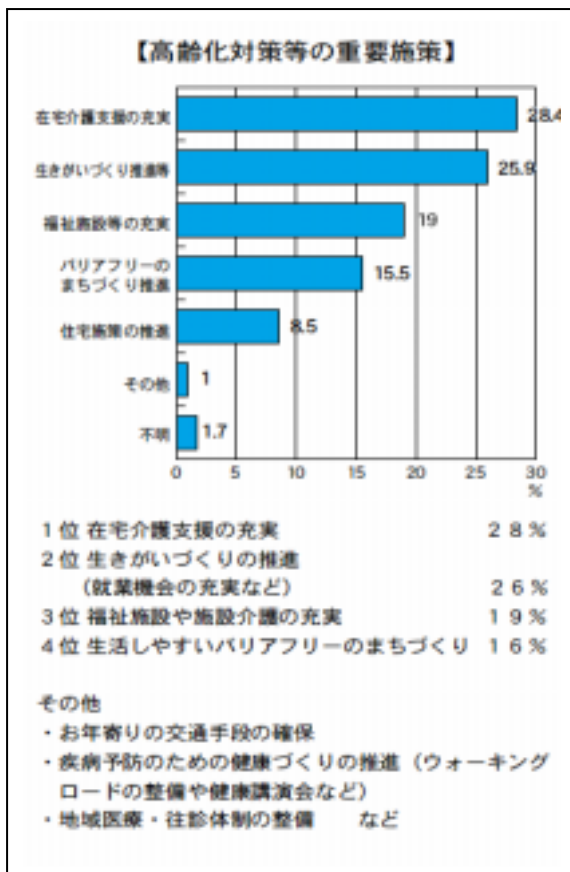
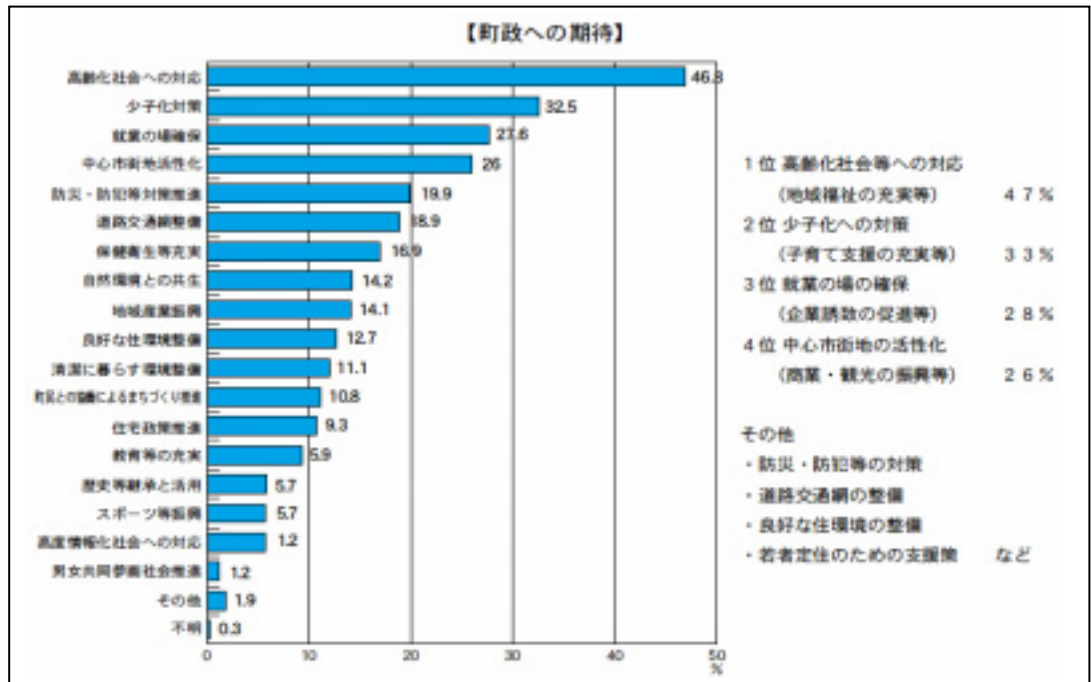
➤ 今後の桑折町に期待すること

町の将来像としては、「福祉が充実したまち」、「快適で便利なまち」、「安全・安心なまち」をあげる声が多く、町政に期待することとしては「高齢化社会への対応」、「少子化対策」、「就業の場の確保」、「中心市街地の活性化」などがあげられています。

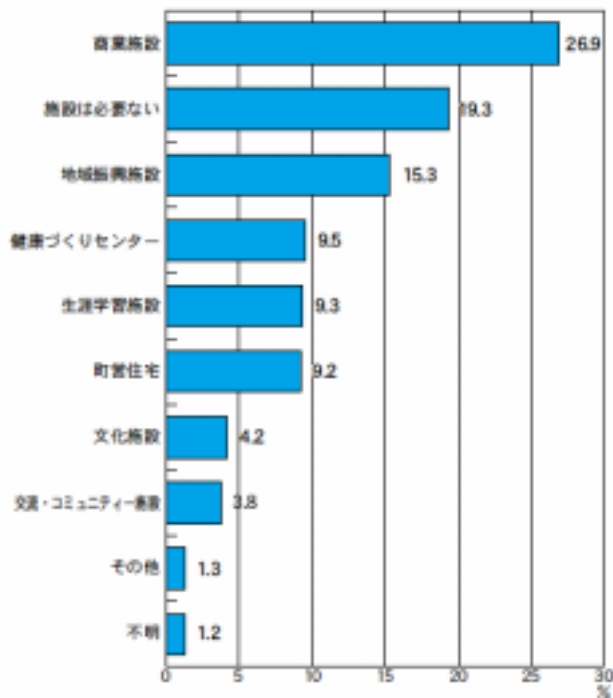
高齢化対策等の重要施策としては「在宅介護支援の充実」、「生きがいつくりの推進等」が多く、少子化対策の重要施策としては「乳幼児保育等の充実」をあげる声が多くなっています。

また、今後、まちに必要な施設としては「商業施設」が最も多く、次いで「施設は必要ない」、「地域振興施設」となっています。





【今後整備が必要だと思う施設】



- | | |
|----------------------------------|-----|
| 1位 商業施設 | 27% |
| 2位 多額の費用がかかる施設は必要ない | 19% |
| 3位 地域振興施設（直売所や道の駅など） | 15% |
| 4位 健康づくりセンター（健康相談やトレーニングができる施設等） | 10% |
| 5位 生涯学習施設（図書館など） | 9% |
| 6位 町営住宅 | 9% |

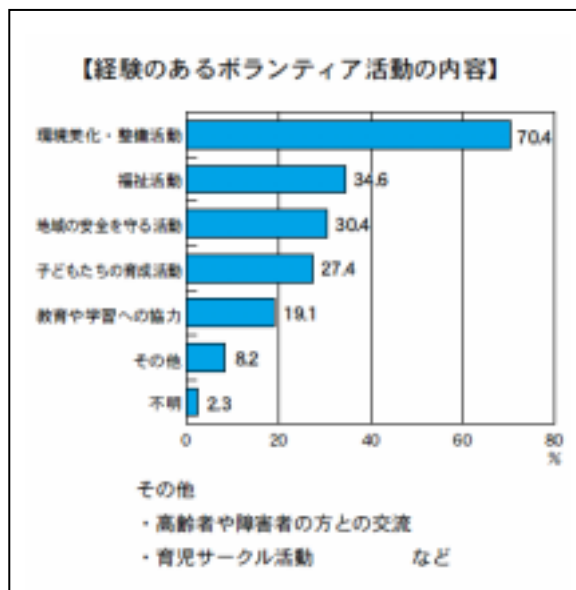
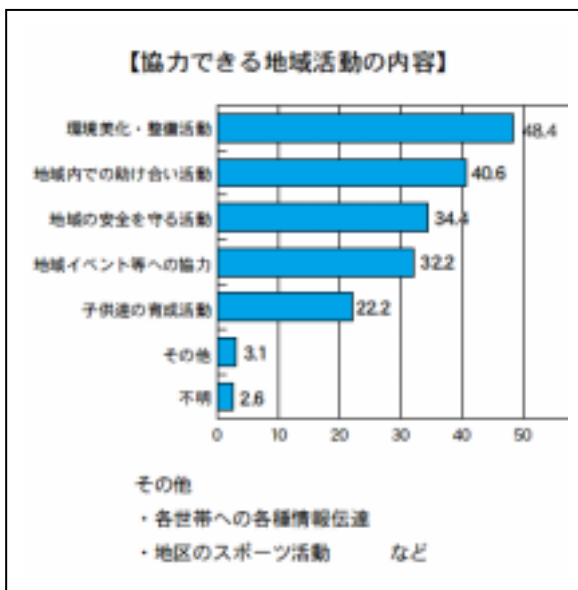
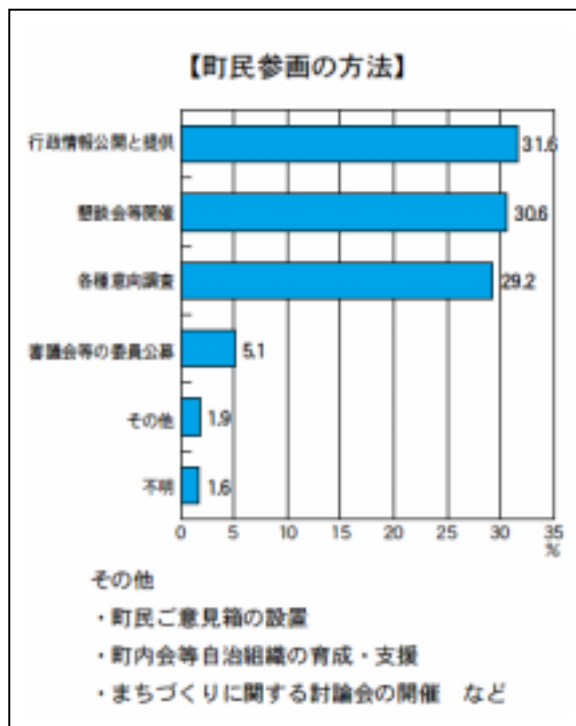
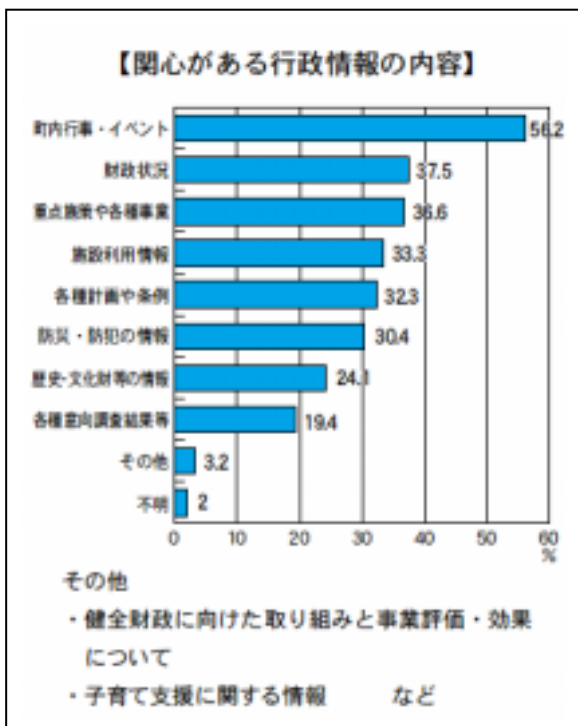
その他
 ・多目的ホールなどの文化施設
 ・公園や広場
 ・災害時の防災施設
 ・防犯灯の整備 など

➤ 町民との協働によるまちづくり

町民が関心をもっている行政情報としては「町内行事・イベント」が最も多くなっています。

町民参画の方法としては「行政情報公開と提供」、「懇談会等開催」、「各種意向調査」を有効と考えている人が多いようです。

協力できる地域活動の内容としては、「環境美化・整備活動」、「地域内での助け合い活動」などが多くなっています。

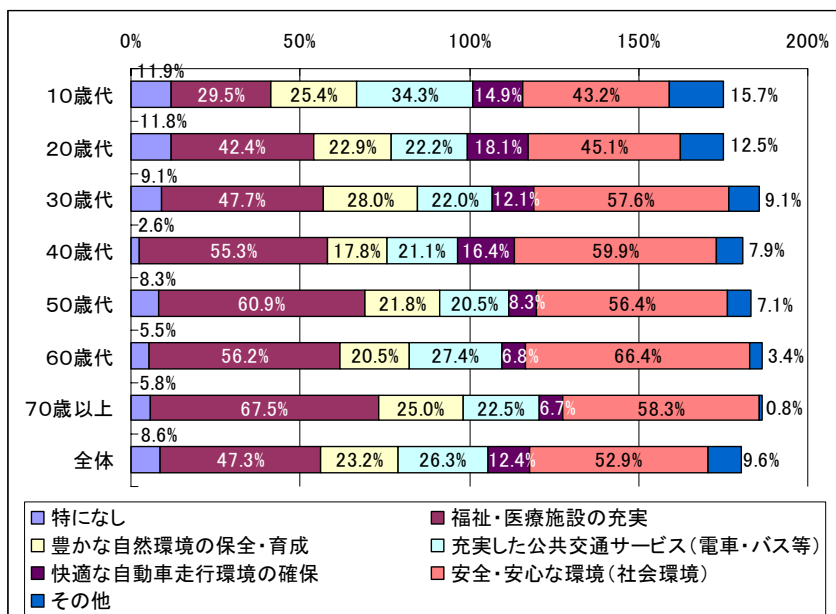


(まちづくりについて)

➤ 定住のために望むこと

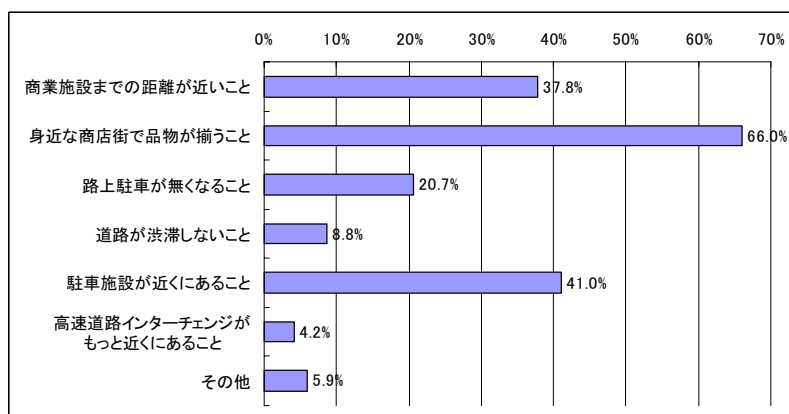
桑折町に定住するためには「安全・安心な社会環境」を望む声が多く、次いで「福祉・医療施設の充実」、「充実した公共交通サービス」となっています。

「充実した公共交通サービス」は10歳代の回答が多くなっており、通学の利便性向上を求めていることも伺えます。



➤ 買い物環境に望むこと

「身近な商店街で品物が揃うこと」、「駐車場があること」という声が多く、車で気軽に行けて何でも揃う買い物が理想となっていることが伺えます。

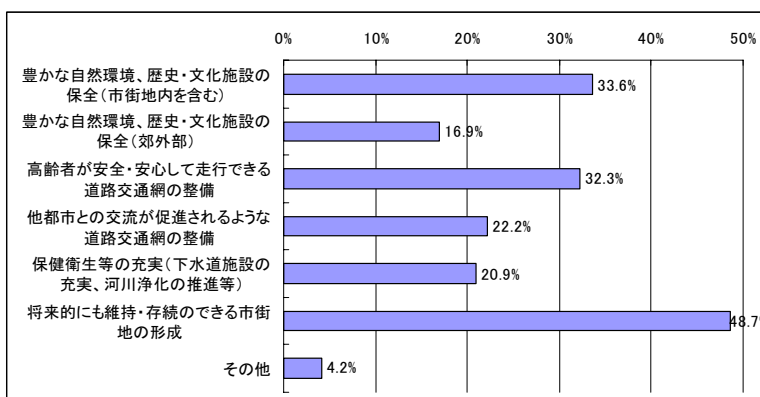
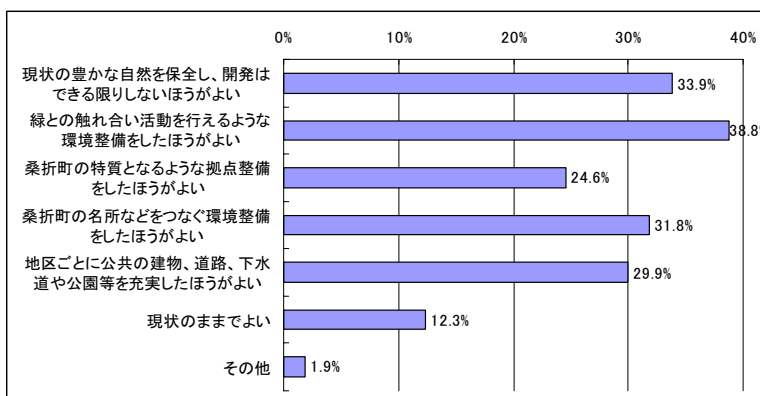
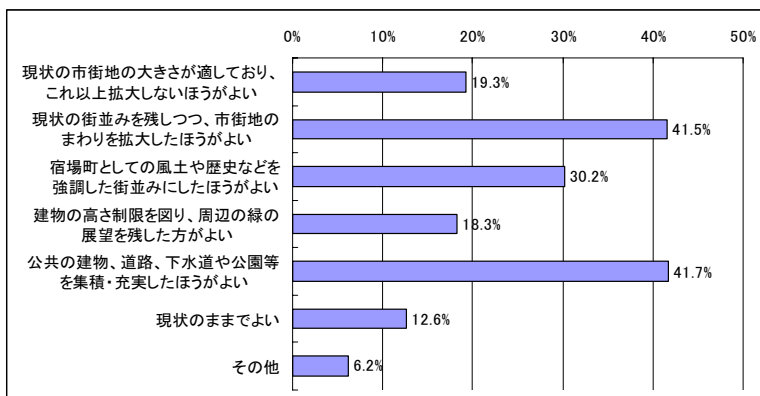


➤ 市街地や農村集落・山間部のあり方（まちづくりの方向性）

市街地については、「公共施設の集積・充実」、「現状の街並みを残し周辺を拡大」、「宿場町を強調した街並み」などをあげる声が多くみられます。

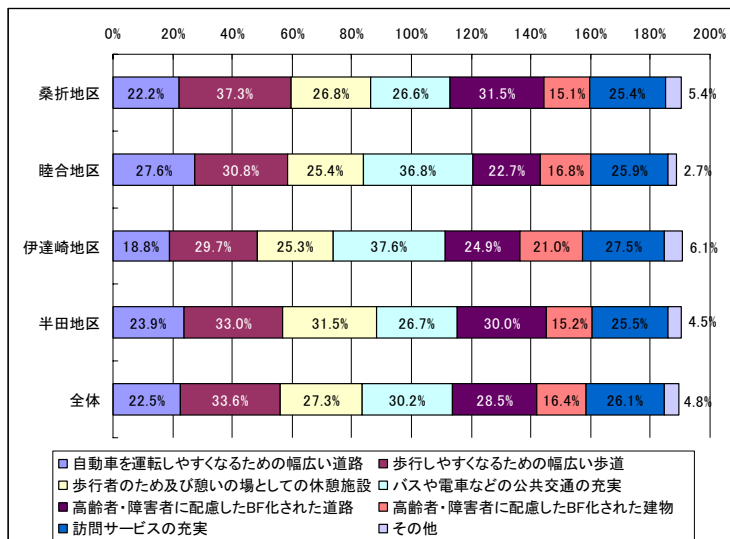
一方、郊外の集落や山間部等については「緑とのふれあい」、「自然環境の保全」、「名所などをつなぐ整備」、「地区ごとに社会資本を充実」などが多い結果となりました。

また、町政への要望として、「将来的に持続可能な市街地の形成」と答えた人が半数を占め、「自然環境や歴史・文化の保全」、「高齢者が安全・安心な道路」などが続いています。



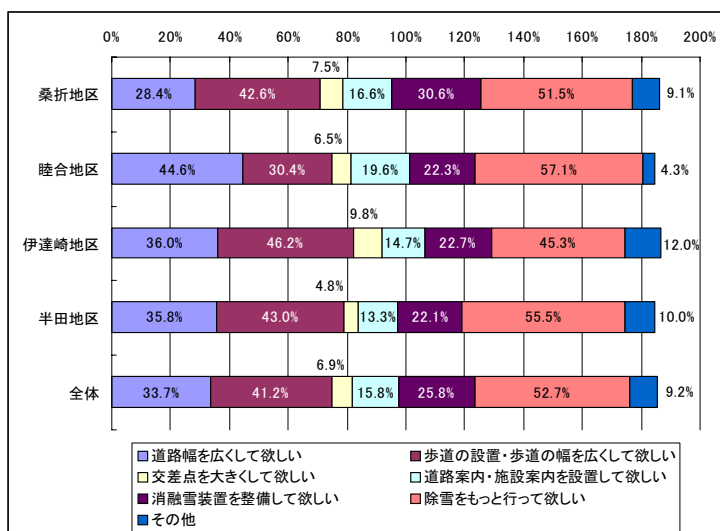
➤ 高齢者等の快適な暮らし

全体的には「歩きやすい歩道」、「バリアフリー化された道路」と答える人が多くみられました。地区別に見ると、睦合地区や半田地区では「自動車を運転しやすい幅の広い道路」も比較的多く、また、睦合地区、伊達崎地区では「公共交通の充実」も多くみられます。



➤ 生活道路への要望

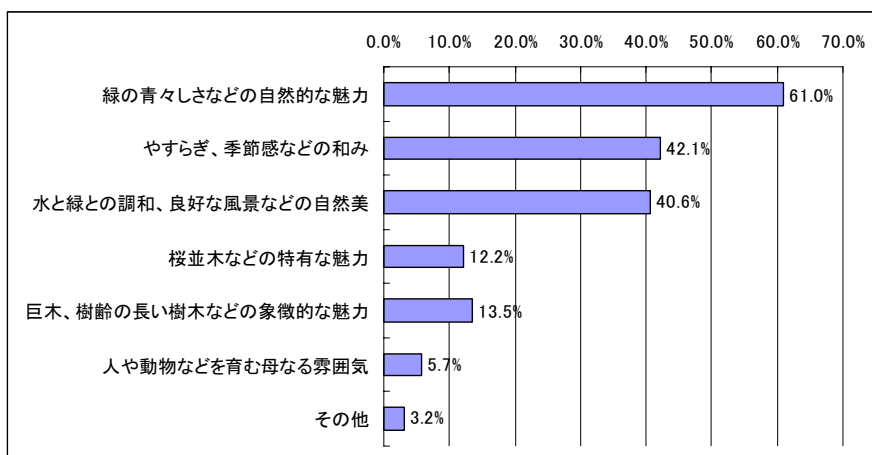
全体的には「除雪」、「歩道拡幅」と答える人が多くみられました。地区別に見ると、睦合地区をはじめとする集落では「道路拡幅」、桑折地区では「融雪装置」が他地区と比べて高い割合となっています。



(緑について)

➤ 緑の魅力

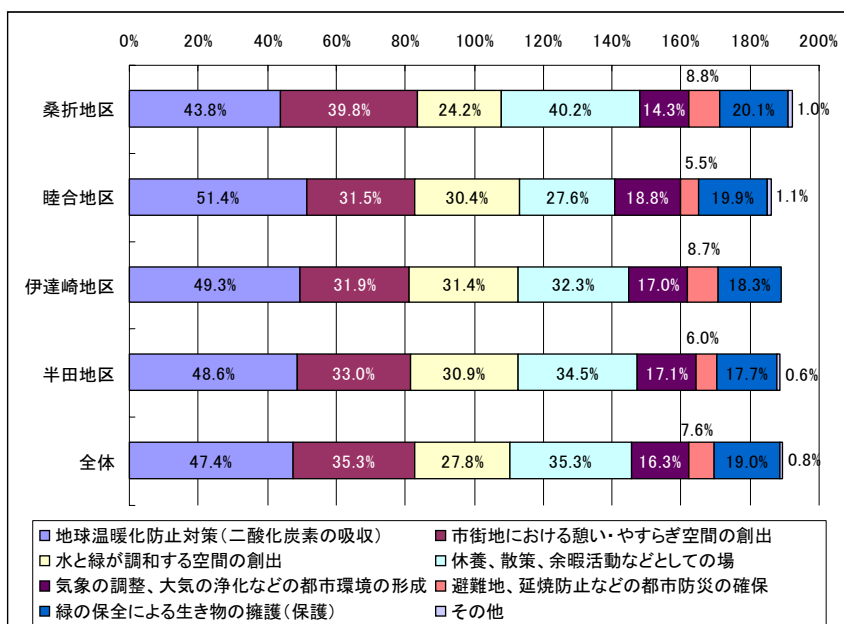
緑の魅力として「自然的な魅力」、「安らぎ・季節感」、「良好な風景」をあげる声が多くなっています。また、桑折町において特に緑に魅力を感じる場所としては「半田山自然公園」とする回答が最も多く、そのほか「こおり桃の郷」、「万正寺の大カヤ」、「旧伊達郡役所」、「こおり温泉・うぶかの郷」、「中央公民館」などがあげられています。



NO.	名称	回答数	NO.	名称	回答数
1	国指定重要文化財「旧伊達郡役所」	21	31	伊達地方衛生処理組合清掃センター	
2	国指定史跡「西山城跡」	12	32	特別養護老人ホームコクーン	1
3	桑折寺「山門」	2	33	老人保健施設桑折・聖オリーブの郷	1
4	万正寺大カヤ	28	34	養護老人ホーム桑折緑風園	2
5	葛の松原碑	3	35	特別養護老人ホームあつかし荘	1
6	無能寺「御蔭酒松」	6	36	半田釀芳小学校	
7	法円寺「芭蕉の田植塚」	4	37	半田釀芳幼稚園	
8	半田銀山遺跡	7	38	桑折町学校給食センター	
9	桑折代官・竹内平右衛門信将の墓所	1	39	釀芳中学校	4
10	つつじヶ丘遺跡	5	40	釀芳小学校	4
11	大五輪遺跡		41	児童館	1
12	錦木塚遺跡		42	釀芳保育所	
13	早田傳之助宅 附羽州街道	12	43	釀芳幼稚園	
14	半田山自然公園	181	44	伊達崎小学校	4
15	伊達朝宗の墓	3	45	伊達崎幼稚園	1
16	観音寺	10	46	睦合幼稚園	5
17	大安寺「梵鐘」	1	47	睦合小学校	1
18	伝来寺「梵鐘」		48	半田コミュニティセンター	2
19	種徳美術館		49	伊達崎公民館	
20	こおり桃源郷	33	50	中央公民館(福祉センター)	22
21	桑折警察署	1	51	町民体育館	1
22	桑折町役場		52	町民プール	2
23	桑折町役場分庁舎		53	町民第二体育館	2
24	伊達地方消防組合中央消防署西分署	1	54	町民テニスコート	
25	公立藤田病院	2	55	桑折公民館(町民会館)	2
26	桑折郵便局	1	56	睦合テニスコート	2
27	桑折町保健福祉センター「やすらぎ園」	16	57	睦合ふれあい会館	1
28	桑折町老人福祉センター「大かや園」	1		半田山	81
29	火葬場			半田沼	72
30	桑折町民研修センター「うぶかの郷」	25		藤倉ダム	8
		計			596

➤ 緑に求める機能

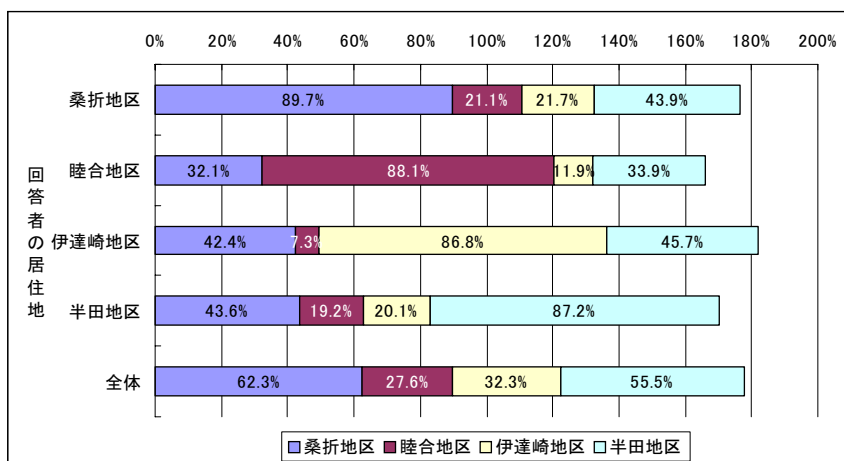
約半数の人が「地球温暖化防止対策（二酸化炭素の吸収）」をあげています。次いで、「市街地における憩い・安らぎの場」、「休養・散策・余暇活動の場」となっています。



➤ 公園などが必要な場所

桑折、半田、睦合、伊達崎の4地区とも、自らの住んでいる地区にほしい、という声が約9割となっています。

また、相対的にみると「桑折地区」、「半田地区」と答える人が多く、市街地の緑、半田山自然公園の緑などの重要性がうかがえます。



➤ 望まれる公園像

「水辺空間や親水公園」、「身近な公園緑地」と答える人が多くみられました。次いで、「運動公園」、「防災公園」となっています。

